

みなとみらいアマチュア室内楽フェスティバル2010 (ACF2010)

麻醉科学准教授 廣田弘毅

このたび私の主宰するモルフェウス弦楽四重奏団は、横浜みなとみらいホールで開催されるACF2010 に出演することになりました（平成22年2月20～21日、テレビマンユニオン主催）。ACFは、プロ演奏家によるテープ審査を通過したアマチュア音楽家による室内楽コンサートで、全国の音楽愛好家たちの憧れの舞台となっています。過去の北陸からの出演はまだ数団体に留まりますが、モルフェウス弦楽四重奏団は今回のACFで大トリをつとめることになりました。

ACFのホームページ>> <http://www.tvumd.com/index.html>

モルフェウス弦楽四重奏団 Morpheus String Quartet

今年で結成15周年、麻醉科医と薬剤師から成るアンサンブル。医療の世界は安全第一でありミスは命に直結する。一方音楽では、うっかり音を外しても誰かが死んだりしない。それをいいことに、ステージ上では大胆不敵な集団と化し縦横無尽に乱舞する。

廣田 弘毅 (チェロ)。富山大学麻醉科学・准教授。チェロは故・名取晴甫氏（読売交響楽団）に師事。カルガリー大学医学部留学中には音楽科オケのオーディションに受かり、首席奏者もつとめた。当直の夜にチェロを弾いて音楽配信するポッドキャスト「Simply Cello!」は、米国iTunes Store で5つ星を獲得中。

佐々木 利佳 (ビオラ)。富山大学麻醉科学・助教。小児心臓外科チームの一員として「北陸では富山大学でしかできない」という数々の難手術を成功に導いてきた、神の手を持つ女。富山大学医科薬科管弦楽団コンサートミストレス（第16代）。神の手でビオラも弾いちゃう。

木沢 真紀子 (バイオリン)。坂東病院（朝日町）勤務の薬剤師。5才よりバイオリンを始める。富山音楽界のドン、故・大澤和夫氏の最後の愛弟子として、さまざまな音楽シーンで活躍してきた。富山大学医科薬科管弦楽団コンサートミストレス（第19代）。一昨年、二児（双子ちゃん）のママになった。

岩瀬 康子 (バイオリン)。黒部市民病院の麻醉科医（平成22年4月から富山県立中央病院麻醉科）。「わたし、バイオリンさわってみたいです」と大学オケに遊びにきたヤスコが、みるみる先輩たちを追い抜かしてトップ奏者の座についたのは、いまだに語り草となっている。富山大学医科薬科管弦楽団コンサートミストレス（第25代）。

モルフェウス弦楽四重奏団のホームページ>>

http://web.me.com/morpheus_sq/iWeb/Koki/Morpheus%20SQ.html

